

地歴公民 (日本史) 慶應義塾大学 経済学部 1/1

- I 問 1 (1) 1→3→2→4 (2) 3
- 問 2 当初は商場知行制のもとで松前藩主や上級家臣がアイヌとの交易を行ったが、のちに交易を内地の商人に請け負わせ運上金を徴収する場所請負制に変化した。(71字)
- 問 3 a-6 b-4 c-5
- 問 4 幕末の日露和親条約では、千島列島は択捉島以南を日本領、得撫島以北をロシア領とした上で、樺太は両国雑居地と定められた。その後、明治初期に結ばれた樺太・千島交換条約では、樺太をロシア領、千島列島全島を日本領とした。(105字)
- 問 5 a-3 b-2 c-1
- II 問 6 a-3 b-2 c-6
- 問 7 (1) 政府は犯人に大逆罪を適用して死刑にするよう裁判所に圧力をかけた。大審院長児島惟謙はこれに反対し、大審院は犯人を無期徒刑とする判決を下した。(69字)
- (2) 1
- 問 8 (1) a-伊藤博文 b-松方正義 (2) ア-自由党 イ-進歩党
- (3) a-1 b-3 c-4
- (4) 当初、華族は旧公卿・藩主の身分呼称として定められたが、華族令によって公・侯・伯・子・男の5爵が設けられ、従前の公卿・藩主のほか、明治維新及びその後国家に勲功のあった政治家・軍人などにも与えられた。(98字)
- (5) 内閣が陸軍の2個師団増設要求を拒絶すると、陸軍は陸相上原勇作を単独辞任させて後任を出さず、軍部大臣現役武官制を利用して総辞職に追い込んだ。(69字)
- 問 9 (1) 3 (2) 2・4・5
- III 問 10 (1) ア-首里 イ-那覇
- (2) 琉球は江戸幕府に対し、琉球国王の代替わりごとにその就任を感謝する謝恩使を、また徳川将軍の代替わりごとにこれを祝賀する慶賀使を派遣した。(67字)
- 問 11 a-3 b-5
- 問 12 ノモンハンでソ連と戦闘中に、日本とソ連を牽制する防共協定を結んでいたドイツが独ソ不可侵条約を結んだため、内閣は欧州情勢の急変に対応できず総辞職した。(74字)
- 問 13 (1) 6
- (2) 「対米追従」といわれた吉田茂に代わり「自主外交」を掲げた鳩山一郎首相は、日本の国連加盟に反対していたソ連と共同宣言に調印し、国交を正常化した。(71字)
- 問 14 a-0 b-2 c-5 d-1
- 問 15 (1) 2 (2) a-1 b-5 c-2